

## 平成 29 年度 第 4 回多職種連携研修会

～病院+在宅＝地域医療連携研修会～ アンケート集計

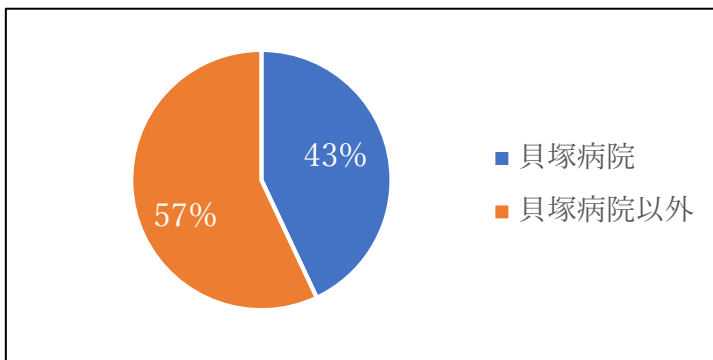
日 時 平成 30 年 2 月 14 日 (水) 18 時 30 分～20 時 30 分

出席者 貝塚病院 管理棟 1 階 第 1・第 2 会議室

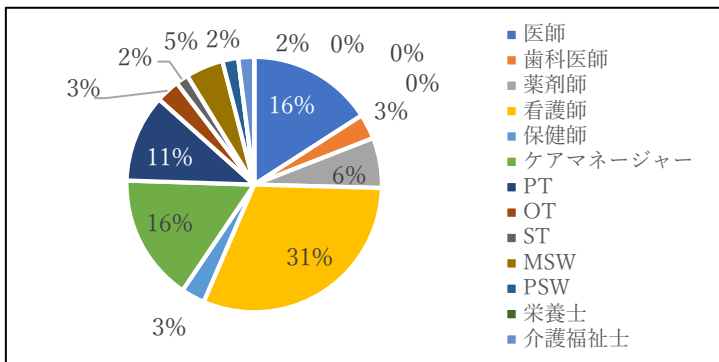
出席者 93 名

アンケート回答者 63 名

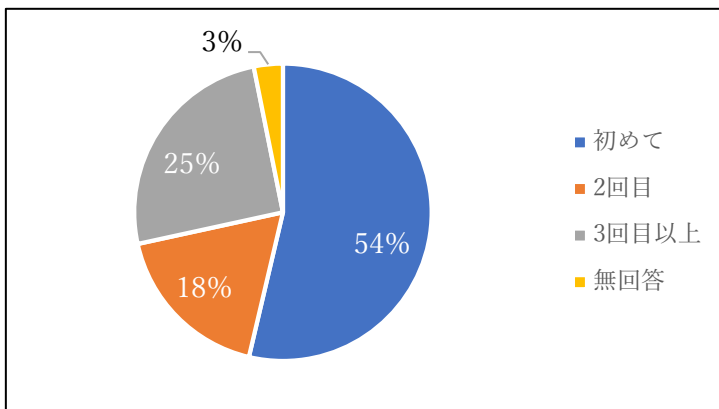
### 1. あなたのご所属を教えてください



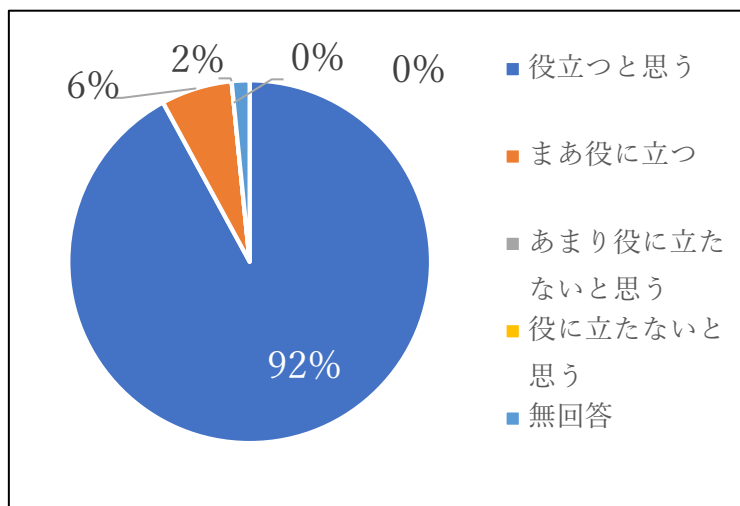
### 2. あなたの職種を教えてください



### 3. 今回のような研修会への参加は、何回目ですか？



3, 今回の事例は、今後の業務に役立ちそうですか？



4-1, 理由

具体的イメージ UP
ますますこのような事例は増えてくると思うため、整理できて良かった
いつもの業務の中でも経験することができない研修会だったので、勉強になりましたし、色々な方の意見を聞くことで、新たな気づきを見つけることができました
他職種からの意見が聞けて、新しい目線を持つことができた
在宅へ向けての流れ、方向性、多職種とのつながり方について具体的なイメージができました
皆様のご意見を伺って、入院当初からの情報収集、ゴールに向けての多職種連携、関わっていく順序等考え直すことが必要だと感じました
色々な職種の方とお話できて、とても勉強になりました
病院薬剤師は、ent 後の Pt の食事、生活、住宅環境などあまり関わりがなかったもので、大変勉強になりました
さまざまな方面からの支援を考えられる
サービスや支援について考える機会になりました
多職種との情報交換ができるから
日々の業務を振り返ることが出来たため
地域のスタッフと交流できるから
退院支援についてのカンファレンスに初めて参加した。多職種が交じって対象者についてどういったサービスが早い段階か必要かなど、看護師だけでは視野が狭く、ここまで考えることが出来なかったと思う。とても参考になった
多職種との話し合いで、それぞれの専門分野の意見が聞けて問題を解決しやすい
普段のカンファレンスでは、様々な職種が集まりますが現情報にすぎないため、その点今日の

研修ではケースディスカッションにて職種別の考え方、意見交換ができてとても勉強になりました

色々な方の意見が聞ける。視野が広がる

多くの異なる意見が聞けて視野が広がった

自立生活支援につながるため

本人・家族の意向を中心に、多職種の視点からアプローチすることを学びました

多くの職種の方の意見、考え方等に触れることで、患者さんへのケアに活かしていきたいです

訪問歯科の必要性と病院・施設・居宅への訪問歯科が可能なことを知ってもらったので

他院での取り組みを知ることができました

他の専門職との意見交換で、新しい視点を持つことができました

今回、病院スタッフの方が多数参加されていた為、病院スタッフの方々の考えや、在宅に期待する事がよく分かりました

多職の意見を聞くことができ、顔の見える関係(コミュニティー)が広がる

実際の事例検討に初めて接し、大変有意義と感じました。今後も参加したいと思います

多職種で話す事で視点が変わり、問題点だけでなく強みを見い出すことにもつながる

実際の症例を通して具体的なグループワークができたので、日々の中で活用できそうだと  
思った

在宅生活を継続するにあたって、本人の目標や希望をしっかりと確認して、リハビリに取り組んでいただけるようにしていきたい

初めて参加させていただきましたが、沢山勉強になりました

色々な職種の方と話すいい機会になる

実際に退院にあたり、指導が難しい方が多くいる為、色々な職業の話が聞けたため

入院早期から退院を見据えた在宅サービスとの連携の重要性がディスカッションできた

在宅医療の重要性が理解できた

病院スタッフの方から「3時間くらいしてほしい、もっといろいろ知りたい」と言ってもらえたこと  
内にいると外の事が分かりにくいので、お互い知ることが大事だと思う

どうしても医療面が優先になってしまうが、考え方、発想の仕方で沢山のヒントをいただきました

グループワークで様々な職種の方の話が聴ける